

令和5年度地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業

- 令和5年度、中部経済産業局では中小企業等が抱える経営課題の解決に向け、**副業・兼業、デジタル人材及び女性、高齢者、就職氷河期世代を含む多様な人材の確保・活用・定着を図る事業を実施。**具体的な事業内容は以下のとおり。

① 副業・兼業等外部人材確保事業

- 外部人材や多様な働き方を受け入れることへの知識・理解を高め、経営戦略に沿った人材像を明確化したうえで、中小企業等と副業・兼業人材のマッチングを実施。
- 好事例や人材戦略のポイントを地域に普及。

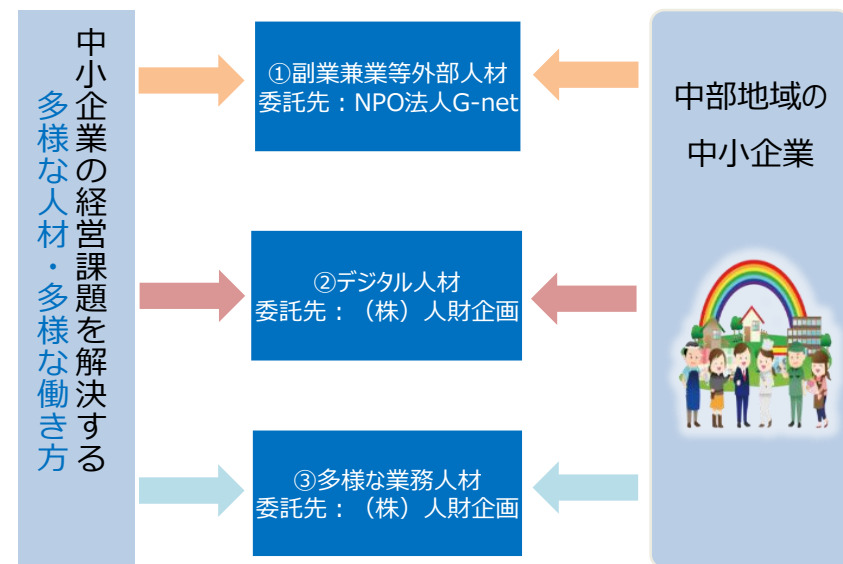
② デジタル人材確保・育成等事業

- これからDXに取り組もうとする中小企業等に向けて、DXリテラシー習得の理解促進を高めるとともに、経営課題の明確化やDXリテラシー習得プランの策定を支援。
- DXにチャレンジしている中小企業等に向けて、DX戦略の策定を支援するとともにDX推進人材の確保に向けたマッチングを実施。

③ 多様な人材確保等事業

- 人材活用ガイドラインやシームレスな人材確保支援を可能とする地域の支援機関ネットワークを構築の必要性や意義を周知。
- 構築したネットワークと連携して中小企業の意識啓発を行い、中小企業と多様な業務人材のマッチングを実施。

【事業イメージ】



【問い合わせ先】

中部経済産業局 地域経済部 地域振興・人材政策課

TEL: 052-951-2716

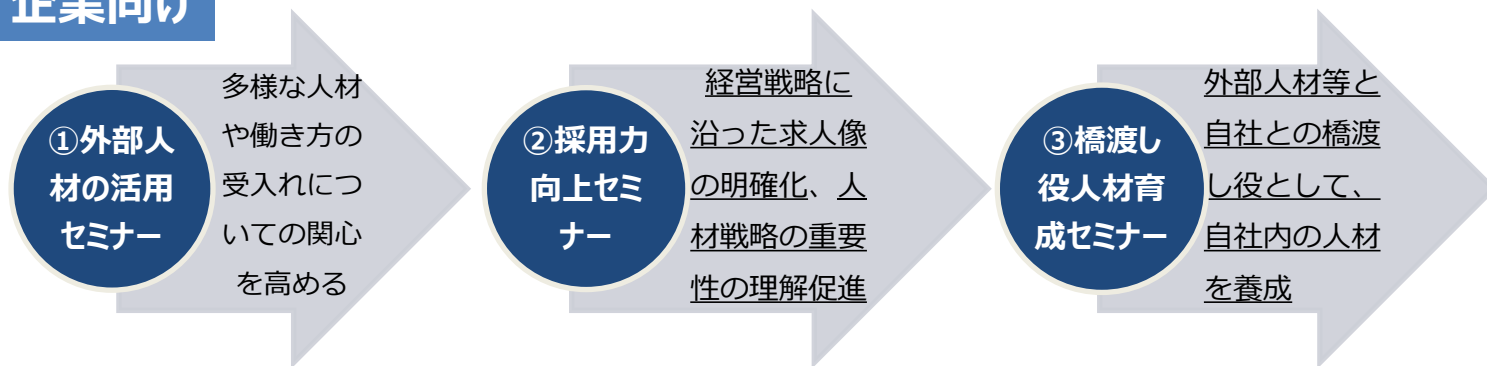
MAIL: bzl-chubu-jinzai@meti.go.jp (| はエルです)

① 副業・兼業等外部人材確保事業

- 中小企業等の多くは副業・兼業等の外部人材を受け入れるための理解が進んでいないことから、それらの働き手の十分な確保、活用に消極的であり、**中小企業等と外部人材をマッチングすることと併せて、受入れ及び定着についての知識や関心を高めることが必要。**
- 中小企業等の経営課題の解決に資する人材の確保・定着や外部人材の活躍を目的に、製造業をはじめとする中小企業等が**副業・兼業をはじめとする外部人材※**を受け入れ、**協働で課題解決型プロジェクトに取り組む事業**を実施する。

※副業・兼業、プロボノ等の多様な働き方による、スキル、能力、経験値の高い中核人材（大企業OB、シニア含む）

企業向け



伴走サポート（②～④）

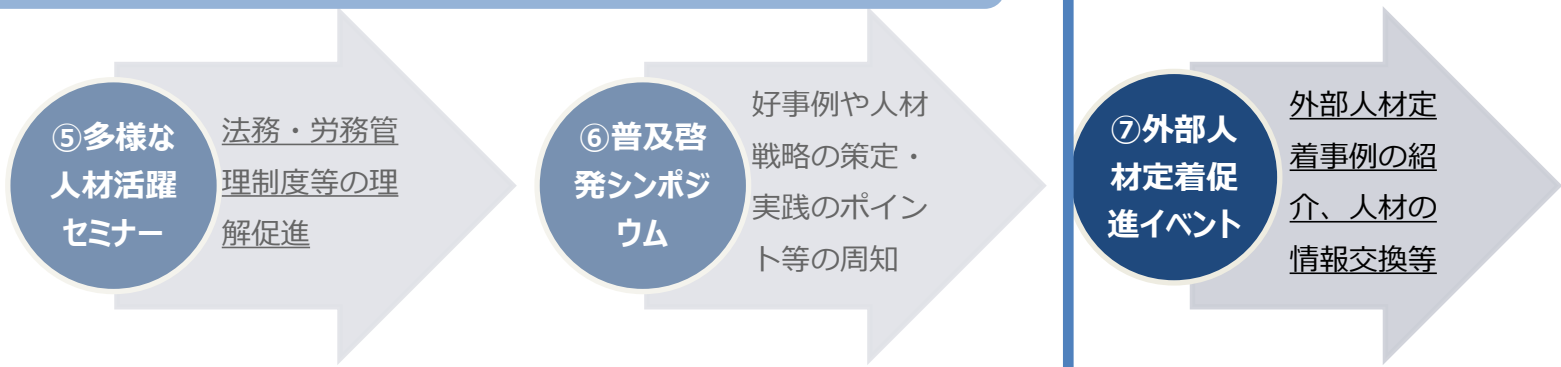
企業と人材のマッチング率・定着率を高めるため、**イベント参加企業に対して伴走サポートを実施。**

フォローアップ（④終了後）

マッチングが成立した企業等に対してフォローアップ調査を実施。

人材向け

④企業と人材のマッチングイベント 企業：40社程度、人材：180人程度
副業・兼業等人材と中小企業等が出会う機会となるマッチングイベント



②デジタル人材確保・育成等事業

- 中小企業等のDXを推進するためには、経営層に対しDXリテラシー習得の必要性の理解促進を図ることやDX推進人材の育成や確保を支援することが必要。
- これからDXに取り組もうとする中小企業等が全社的にDXに取り組む環境を創出できるよう、デジタルリテラシー習得の必要性の理解促進セミナーやアクションプラン策定のワークショップを実施。
- DXにチャレンジする中小企業等における経営ビジョンに基づくDX戦略の策定を支援するため、DX推進人材像を明確化し、マッチングの場を提供。
※「人材活用ガイドライン」を活用

DXリテラシー習得に向けた育成

対象：これからDXに取り組もうとする中小企業等

【経営者層・管理者対象】 20社程度、各2回程度

DXリテラシー習得の理解促進セミナー

DXの取組方針の策定、経営課題の明確化、DXリテラシー習得の必要性の理解促進を図る。

経営課題の明確化のためのワークショップ

デジタル技術により解決可能な経営課題の抽出、DXの取組方針や課題解決策の検討を実施。

【現場リーダー対象】 20社程度、2回程度

DXリテラシー習得プランの作成（ワークショップ）

自社のDXの取組方針や経営課題を踏まえ、現場で活用できるDXリテラシー習得プラン（アクションプラン）を作成。

DX推進人材の確保等

対象：DXにチャレンジしている中小企業等（経営者、管理者等）

DX推進セミナー

DX戦略策定など具体的なDX推進方法を発信し、DX実現に向けた理解の促進を図る。（1回程度）

マッチング候補企業の選定

社内のDX推進人材（候補者含む）と共に経営ビジョンに基づくDX戦略の策定や、戦略を実現するための具体的な手法や課題等を洗い出すワークショップ（3回程度）等を実施し、DX推進人材マッチングに参加する企業を選定する。（15社程度）

DX推進人材マッチング

DX推進をサポートする外部専門人材とのマッチングイベントを実施。（1回）

フォローアップ

- ・ 人材確保状況等のフォローアップ。
- ・ DX推進する上での経営課題の抽出、課題解決策の検討、副業・兼業等の外部人材等も含めた求人像の明確化等の取組をまとめた事例を作成。

③多様な人材確保等事業

- 令和5年6月公表の「人材活用ガイドライン」の活用を促進。
- 人員やノウハウの点において単独の支援機関では困難な、シームレスな人材確保支援を可能とする地域の支援機関ネットワークの構築の必要性や意義を周知。
- 中小企業等の中核人材の補助的な業務や定型的な業務など現場の労働力を担う人材（就職氷河期世代を含む）の確保を支援するため、支援機関等と連携して企業発掘し、セミナーやマッチングを実施。

支援機関向け

①「人材活用ガイドライン周知セミナー

「人材活用ガイドライン」の活用促進や、中核事業※の事例紹介を通じた支援ネットワーク構築の意義等の周知を行うセミナーを実施（管内5県にて、①②併せて10回程度、参加機関数各回2機関以上）。

②地域別ネットワーク構築に向けたワークショップ

①に参加した支援機関のうちネットワーク構築に意欲のある支援機関に対し、地域企業のニーズ把握、支援機関の実態把握、ネットワーク構築の必要性・意義や共通課題の認識等のワークショップを実施（管内3地域以上にて、①②併せて10回程度、参加機関数各回2機関以上）。

中小企業等向け

③中小企業等への意識啓発セミナー

①②に参加した支援機関等と連携して中小企業等を発掘し、自社の求人像を明確化し、就職氷河期世代人材、コロナ禍における離職者、ライフイベントや育児等のため離職をした女性など30代以上の就職・転職を希望する人材の受け入れの関心を高める意識啓発セミナーを実施（原則オンライン、1回、参加企業数30社程度）。

④中小企業等と人材とのマッチング

③に参加した企業と人材が交流する場となるマッチングイベントを実施。参加人材に対して就職意欲を高めるセミナーを実施するほか、スキルアップのための施策等の情報を提供。実施に際しては地域労働局や地方自治体等と連携を図る（東海地区にて1回、オンラインにて2回、各回参加企業数10社程度、参加人材数20人程度）。

⑤フォローアップ調査

④のフォローアップ調査とともに、事例作成により事業効果の深掘りを行う（2件程度）。

※中小企業庁によって実施された、多くの地域の経営支援機関等が、中小企業等の経営課題や求人像の明確化等の中核人材確保支援を行えるようになることを目的とした、地域における支援ネットワークの形成等を促進する実証を通じて、その在り方に関するノウハウの取りまとめや他地域への横展開の方針や方法の策定等を行う事業。